



ニュースリリース

2016年12月15日

新日鉄住金エンジニアリング株式会社
大阪ガス株式会社

タイ国におけるコージェネ・オンサイト事業の受注と 平成27年度二国間クレジット制度を利用したプロジェクト設備補助事業の採択について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長 藤原 真一、本社：東京都品川区 以下「NSENGI」）と、大阪ガス株式会社（代表取締役社長 本荘 武宏、本社：大阪市中央区 以下「OG」）が子会社である Osaka Gas Singapore Pte. Ltd.（社長 米田 哲二 以下「OGS」）を通して共同出資するタイ国現地法人 NS-OG Energy Solutions (Thailand) Ltd.（出資比率：NSENGI 70%、OGS 30%、以下「NSET」）は、タイ国で二輪車製造を行う Honda グループの Thai Honda Manufacturing 社（以下「THM 社」）向けコージェネ・オンサイト事業^(注)を受注いたしました。

本件は、NSENGI 及び OG がこれまで長年にわたり培ったコージェネレーション運用ノウハウを基に、高効率のガスエンジンコージェネレーション設備及び冷水供給設備（以下「エネルギー供給設備」）を THM 社に提案し、受注にいたったものです。このコージェネ・オンサイト事業の受注にあたり、THM 社には、ガスエンジン廃温水を有効利用するため、同社の二輪車製造工場におけるエネルギー使用要件の整理および熱利用プロセスの見直しにてご協力頂きました。THM 社との共同検討を通じて、エネルギーの需要と供給の両面での最適化を実施したことで、高効率のエネルギー需給システムを構築するにいたしました。

この事業では、NSENGI が設計、調達、据付及び操業指導を含む建設工事一式を実施します。一方、NSET は、THM 社の工場構内に導入されたエネルギー供給設備を保有し、15年間の操業・保守を請負い、工場の操業に必要な電力、蒸気、温水、冷水を THM 社に供給します。複合的にエネルギーを利用することで、一次エネルギーを削減するとともに、THM 社のエネルギーコストを削減します。また、オンサイト発電であるコージェネレーションの導入により、工場の電源安定化をはかります。

また、日本の優れた低炭素技術等を活用して CO₂削減を行う当該プロジェクトは、二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism 以下「JCM」）に基づくクレジットの獲得を目指す「環境省 平成27年度 JCM 設備補助事業」に採択されております。このプロジェクトにより、15年間で約10万tのCO₂を削減します。本プロジェクトではJCMを活用することにより、我が国のCO₂削減目標の達成に貢献してまいります。

引き続き、両社は、これまでの豊富な建設及び操業・保守経験を活かし、環境性・経済性に優れたエネルギーエンジニアリングソリューションを提供することで、低炭素社会の実現に向けた顧客企業の取り組みに貢献し、タイ国における事業拡大を図ってまいります。

(注)：コージェネレーション設備エンジニアリングに加え、設備の操業（運営・維持管理）サービスを提供するプロジェクト

【THM 社向けオンサイトプロジェクト概要】

○ガスエンジンコージェネレーション設備

- 発電出力 : 7,000kW
- 温水供給能力 : 2,000kW
- 蒸気供給能力 : 4 t/h
- 冷水供給能力 : 1,400RT
- 想定 CO₂削減量 : 7,000t-CO₂/年
- 事業開始日 : 2018年2月予定

【お問い合わせ先】

新日鉄住金エンジニアリング株式会社 CSR・広報部 広報室 電話 03-6665-2366

大阪ガス株式会社 広報部 報道チーム 電話 06-6205-4515

以 上